

## 第1回 西尾市総合計画審議会

日 時：令和3年11月9日（火）10：00～11：30

会 場：西尾市役所 22 会議室

### 次 第

1. 市長あいさつ
2. 西尾市総合計画審議会について
3. 会長及び職務代理者選出
4. 諮問（市長から会長へ）
5. 議事
  - (1)第8次総合計画策定方針・スケジュールについて
  - (2)第7次総合計画の評価について
  - (3)第8次総合計画体系案について
6. その他

### 配布資料

- 資料1 西尾市総合計画審議会委員名簿  
 資料2 西尾市総合計画審議会規程  
 資料3 第8次西尾市総合計画策定体制図  
 資料4 第8次西尾市総合計画策定方針  
 資料5 策定スケジュール  
 資料6 第7次西尾市総合計画施策の進捗総括  
 資料7 第8次西尾市総合計画策定に向けた住民アンケート調査  
 資料8 第8次西尾市総合計画施策体系（案）について

### 委員

#### 出席

氏名	団体名	氏名	団体名
武内 基亘	西尾市教育委員会	植田 康裕	西尾市子ども会育成連絡協議会
外山 好一	西尾市農業委員会	手島 とし子	ばらネット
齋藤 種治	西三河農業協同組合	中村 行男	西尾市障害者福祉団体連合会
黒田 哲也	西三河漁業協同組合	石川 貞夫	西尾市社会福祉協議会
杉田 愛次郎	西尾市文化協会	井関 公宏	西尾市老人クラブ連合会
鳥山 欽示	西尾市観光協会	古居 節男	一般公募
杉浦 明博	西尾市国際交流協会	朝岡 英雄	一般公募
千頭 聡	大学教授		

#### 欠席

氏名	団体名	氏名	団体名
小田井 博茂	西尾商工会議所	辻村 和敏	西尾市スポーツ協会
四方 敦	西尾市医師会	加藤 智子	西尾環境市民塾
黒野 太郎	西尾青年会議所		

継承略

傍聴者 1名

## 開会

発言者	内容
事務局	<p>定刻となりましたので、ただ今から、第1回西尾市総合計画審議会を開催させていただきます。会議に先立ちまして、事務局より連絡をさせていただきます。</p> <p>委員の皆様には机上に委嘱状を交付させていただいております。委嘱させていただく期間は本日から令和4年度末までとさせていただきます。時間の都合上、机上配布とさせていただきますのでご了承のほどよろしくお願いいたします。</p> <p>また、この審議会につきましては、公開とさせていただくとともに、議事録作成と計画書冊子に掲載するため、録音と写真撮影を行いますのでよろしくお願いいたします。</p>

## 1. 市長あいさつ

発言者	内容
市長	<p>おはようございます。西尾市長の中村健でございます。この度は、総合計画審議会の委員をお引き受けいただき、また本日の会にご出席いただき誠にありがとうございます。総合計画というものは市政の最上位に位置付けられるものであり、簡単に言うと、まちづくりの羅針盤になります。</p> <p>第8次総合計画では少し装いを変えていきたいと思っています。今の社会というのは、変化が早く、先行きが不透明で正解というものがなかなか無い中で、加えて新型コロナの感染拡大などもあってムードとしては、非常に暗いです。</p> <p>そうした中でも、今日より明日、明日より明後日がずっと良くなるだろうという希望が持てる社会にしていきたいと思っています。私はそれを一言で、ワクワクするようなまちづくりをしたい、と言ってきています。構想はワクワクを引き立てられるような演出をしていきたいですけれども、市民の皆様一人一人が自分自身はこうするとワクワクできる、とか周りの人がワクワクできると思えるようなことがやりやすいようなまちにしていきたいと思っています。</p> <p>しっかり課題に対して向き合って解決していくことは大事ですが、それだけではなくて、ムードとしてもこれから前にしっかり進んでいく、一致団結して明るいムードでやっていくのだということ、ビジョンをしっかりと共有できるような血の通った総合計画にしていきたいと思っています。皆様方におかれましても、それぞれの立場から率直に忌憚のないご意見を言っていただいて、まとめができて一致団結して取り組んでいける、そのような総合計画にしていきたいと思っておりますので、本日はどうぞよろしくお願いいたします。以上でございます。</p>

## 2. 西尾市総合計画審議会について

発言者	内容
事務局	<p>続きまして、次第2の西尾市総合計画審議会について簡単にご説明いたします。</p> <p>資料1をご覧ください。これは西尾市総合計画審議会の委員の名簿です。</p> <p>資料2をご覧ください。こちらは総合計画審議会の規程になります。</p> <p>資料3をごらんください。こちらは第8次西尾市総合計画の策定体制ということでございます。市の最上位計画であります総合計画につきまして市長からの諮問に対して審議を行っていただきまして答申をしていただくということになります。</p>

### 3. 会長及び職務代理者選出

発言者	内容
事務局	<p>続きまして、次第3 会長及び職務代理者選出を行います。</p> <p>総合計画審議会規程第3 条第1 項の規程におきまして会長は、委員の互選によってこれを定めるとなっております。委員のみなさまから推薦がありましたらお願いします。</p>
武内委員	<p>第7 次総合計画策定時に審議会の会長を務められました日本福祉大学千頭先生を推薦させていただきます。</p>
事務局	<p>はい、ありがとうございます。他、よろしいでしょうか。</p>
事務局	<p>ただいま武内委員から千頭委員の推薦をいただきまして皆様異議なし、ということでよろしいでしょうか。</p>
会場	<p>異議なし</p>
事務局	<p>はい、ありがとうございます。それでは委員の皆様のご同意を頂きましたので、千頭教授に会長をお願いいたします。千頭会長は会長席まで席の移動をお願いします。</p>
事務局	<p>続きまして、審議会規程第3 条3 項の規程によりまして、職務代理者を会長からご指名いただきたいと思います。よろしくをお願いします。</p>
千頭会長	<p>はい、それでは地域の事情に一番お詳しい西三河農業協同組合の齋藤さんをお願いしたいと思います。皆様いかがでございましょうか。</p>
会場	<p>異議なし</p>
事務局	<p>ありがとうございます。職務代理者には齋藤種治委員に就任をしていただきたいと思います。齋藤様は職務代理者の席へご移動いただきたいと思います。よろしくをお願いします。</p>

### 4. 諮問（市長から会長へ）

発言者	内容
事務局	<p>続きまして諮問へ移りたいと思います。</p>
市長	<p>第8 次西尾市総合計画の基本構想案および基本計画案について、貴審議会の意見を求めます。</p>
	<p>諮問書受け渡し</p>
事務局	<p>それではご着席ください。</p> <p>それでは諮問を受けられました千頭会長に挨拶をお願いしたいと思います。</p>
千頭会長	<p>千頭と申します、よろしくお願ひ致します。今、市長から基本構想案と基本計画案について、審議会の意見を求めるということで諮問をいただきました。皆様方としっかりと議論していきたいと思ひます。</p> <p>今回の新しい総合計画は職員、市民の方々にもわかる10 年間「これを皆の共通の目標、指針としてがんばろうね」となると思ひしております。今回は、西尾市も市民参加の仕組みを入れられるとお聞きしておりますし、よその自治体では大学生の意見を聞いたりなど、色々なことをしながらこういう計画は策定されます。私は議論の引き出し役ですので、みなさんに活発なご意見を願ひしたいと思います。よろしくお願ひいたします。</p>
事務局	<p>これより議事進行につきましては、千頭会長に進行をお願いしたいと思います。なお市長は、他の公務に抛りましてここで退席させていただきます。よろしくお願ひいたします。</p>
	<p>市長、退席</p>

発言者	内容
千頭 会長	<p>では、事務局から本日は最大 11 時半までとお伺いしております。時間が切れることがあるかもしれませんが、もしもよろしくお願ひいたします。</p> <p>では、お互いご存じの方かもしれませんが、初対面の方もいらっしゃるかもしれませんが、最初にお名前だけでも結構ですので自己紹介をお願いいたしまししょうか。</p>
	(各委員 自己紹介)

## 5. 議事

### (1) 第 8 次総合計画策定方針・スケジュールについて

発言者	内容
千頭 会長	<p>それでは、3つございますが、順番に参りたいと思います。まずは、第 8 次総合計画策定方針・スケジュールについて、お手元の資料のご説明を事務局よりよろしくお願ひします。</p>
事務局	事務局より説明
千頭 会長	<p>はい、ありがとうございます。総合計画は 10 年間ですけれども、20 年後の西尾の姿を描いて、そこからこれからの 10 年間何ができるか、何をすべきかを考えるというお話でした。スケジュールでは審議会は 5 回とありますが、実質的には 3.5 回くらいしかないかと思ひますので、うまくご意見をまとめていきたいと思ひます。</p> <p>それでは、今の第 8 次総合計画策定方針・スケジュールについてのところで、何かご意見ご質問はありますか。</p>
朝岡 委員	第 8 次総合計画のお話をされていましたが、第 7 次総合計画の評価はないのですか。
事務局	次の議題等でご説明させていただきますので、しばらくお待ちください。
職務 代理者	次回も開催前に事前の資料の配布はお願いできますか。
事務局	はい、今後も資料は事前に配布させていただきますので、委員の皆様には最初に見ていただこうと思ひております。
千頭 会長	大変だと思ひますがよろしくお願ひします。他、いかがでしょうか。
手島 委員	<p>先程の施策検討ところの 20 年の西尾市という文言が出てきているのですが、私は考え方の基本としては、20 年というと今「おぎゃあ」と生まれた子どもが 20 歳になっていますよね。その子どもたちに託す未来という考え方で、多分 20 年後、私たちはいないと思うのですが、子どもたちに託す未来の西尾をどういう風に考えていったら良いか、という考え方で検討していけばよいということでしょうか。少しそのあたりの考え方を教えていただきたいです。</p>
千頭 会長	20 年後からのバックキャストिंगということで、どういうことなの、ということをし少しバックキャストの考え方について簡単に説明してください。

発言者	内容
事務局	<p>まずは、手島委員がおっしゃられたように、まずは目標となるような将来の状態というのを想像しまして、そこを起点にして現在を振り返って今目指すべき20年先に向かって何ができるのか、ということを考えていきます。確かに委員の仰るとおり、20年後がどのような未来になっているのか、今特に刻々と変化していますので、想像がつかないかもしれませんが、そんな中で我々職員も知恵を絞って、未来の子どもにどのような未来を託せるかということを経験として、そこから逆算して計画を策定していきます。ちなみに、それがバックキャストという呼び方になりまして、これまでの主流はフォアキャストというのですけれども、現状の分析をしながら、過去の統計や実績から体系を考えていくような考え方になります。これからの変化が激しい時代につきましては、やはりバックキャストの方が向いている、という思いでその方式で検討していきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。</p>
手島委員	<p>ありがとうございます。</p>
千頭会長	<p>よろしいでしょうか。</p>
武内委員	<p>2点質問があります。まず、2の計画構想及び期間の中の「3. 実施計画」の中に「計画期間は3年で、毎年度ローリング方式によって」とありますが、このローリング方式とはどういったものなのか具体的に教えていただきたいと思っております。</p> <p>また、第8次総合計画の特徴の中に、(4)に「全職員参加による計画づくり」とありますが、全職員を対象にアンケートをして「施策横断型事業のアイデアを募集する」と記載があります。これは具体的にどういった形の募集をされるのか、もっと具体的に教えていただきたいです。</p>
千頭会長	<p>事務局お願いします。</p>
事務局	<p>1点目の実施計画を毎年度ローリング形式で見直す、という点ですが、1年間でその予算を見るのではなく、次の3年間を継続的に見て、予算の平準化、事業の平準化、時代の背景にあっているかどうかを、来年度の1年間だけではなく向こう3年間を見て、その3年間ごとにローリングをして事業を計画していく。その3年間の来年度について予算化していく、という形をとっています。そうすることで、先ほどもお話したように色々なことが見えてくるのかなということ、このような形で進めさせていただいております。</p>
事務局	<p>(4)の「全職員参加による計画づくり」というところで、これがまずどういうものなのかと言いますと、各分野の最前線で働いている職員からの意見を出してもらうということで、様々な分野における生の声を聞いていきます。事務局は企画政策課なので、他の部署のことは正直に申して、そこまで詳しくわからない部分がありますので、そういった部分で生の声を計画に反映させていこうという考えです。実は、既に職員へ募集をかけており、何点かそういった意見が出てきています。例えばこれからデジタル化が進んでいくので、市役所に来庁しなくても様々な手続きができるまちづくり構想の提案ですとか、ここにあるように施策横断型となっていますので、スポーツの分野と健康の分野を合体させて、スポーツ健康ツーリズムを今後推進していこう、といったような意見が出ておりますので、よろしくお願いいたします。</p>
武内委員	<p>ありがとうございました。</p>

発言者	内容
千頭 会長	他はいかがでしょうか
朝岡 委員	SDGs に関して他都市の事例は参考にしていますか。
事務局	事例はいくつか調べており、西尾に適応するものを採用しようと思っています。
千頭 会長	<p>SDGs 未来都市は名古屋や豊田が取っていますね。私は名古屋の未来都市も関わっておりますけれども、色々な方がやはりアイデアと知恵を出すのが大事と思っています。今、名古屋の錦2丁目でSDGsWeek というものを開催しています。19・20日は「みちにわマルシェ」ということでSDGsをテーマにしたイベントを計画していますので、もしよろしければお出かけいただければと思います。北海道下川町もすごく頑張って、ローカルSDGsに取り組んでいます。SDGsの言葉は、国連で世界を想定していますから、西尾も「置き換えたらどうなるの」という、その議論をこの中でもできたらいいなと思っています。そういう意味で下川町はすごく頑張っています。</p> <p>それでは、他はどうでしょうか。よろしいでしょうか。それでは、中身はまた次回以降にしっかりと議論していきたいと思っています。</p>

## (2) 第7次総合計画の評価について

発言者	内容
千頭 会長	それでは、(2) 第7次総合計画の評価について、資料の説明を事務局からお願いします。
事務局	事務局からの説明
千頭 会長	はい、ありがとうございました。各分野ごとの施策にぶら下がっている指標から見た時にどうかということと、市民の皆様の感じておられる評価の両方を見ていただきました。時間の制約があるのですが、まず資料6をご覧くださいませしょうか。現在の総合計画の進捗、総括です。議論、ご感想どちらでもいかがでしょうか。
朝岡 委員	これは、「順調」「あまり順調でない」などが書いてありますが、フェーズ分けをすれば、市民の目に達成になっているかなど分かるかと思うのですが、そういうフェーズ分けはなされてのアンケート結果などになっているのでしょうか。
事務局	指標は、例えばある行楽地の入場者数など、そういったものは客観的な統計データで分かるのですが、そういった統計データからでは測れないものを、今回市民アンケートの中で回答していただいて、それぞれ満足かどうかといったようなところをいただき、それを客観的な統計値として出させていただいております。朝岡委員の思いとは少し違うかもしれませんが、客観的な数値として出せるものを算出して出させていただいております。
朝岡 委員	市民が実感できれば、数値も上がるかと思いましたが、それを実感できる方法としてフェーズ分けがいいのかなと思いい見しました
事務局	はい、今委員が仰ったことは第8次総合計画に十分活用させていただきたいと思っています。
千頭 会長	朝岡委員、今、仰いましたフェーズというのは、例えばどんなことをお聞きしてらっしゃいますか。

発言者	内容
朝岡 委員	計画には達成目標があると思いますので、達成目標を段階的に分けていく。計画はいきなり達成ということは絶対にありえませんので、何パーセント達成したかというような形で示すと良いと思います。今「達成」「順調」「あまり順調でない」となっていますが、つけている目標を見るとフェーズになっていないのですよね。1つのフェーズでそのままずっと行ってしまっていますから、「この期間でフェーズ1を達成させる」で、フェーズ1が達成したら次の段階へ入る、とそういう風に分けていけば、市民の方も「この事業は〇%達成しているんだ」という「うまくいっているんだ」というのが目に見えると思うんです。
千頭 会長	はい、ありがとうございます。西尾市では市民意識調査は5年に1回実施されていますよね。多いところでは、毎年されているところも、2年に1回されているところもあります。毎年されているところでは、今委員のご指摘のように、目標に向かって線を引いた時に線上になっているのか、ちょっと上がっているのか少し下がっているのかなとか評価されたりしていますけれど、それはいいご指摘なので、また中身の箇所で話し合いたいと思います。ありがとうございます。他はどうでしょうか。
千頭 会長	資料6・7一緒にアンケート結果も含めてでかまいませんので、両方ご覧になっていただいてご意見ございませんか。両方見ていただいて、特に資料7ですが、皆様の実感と、市民アンケート結果とちょっと違うかなということもあるかと思いますが、いかがでしょうか。 市に住み続けたいという方が、いつまでもという方が4割強ですね。当面が37%。足して8割ぐらいの方が西尾に住み続けたいという回答です。 今回アンケートを3000人に送られて、WEBで回答していただいたということも含めて5割を超えているのは他の市町と比べたら頑張った方かなと思います。 これは日本国籍の方だけが回答されていますか。それとも国籍は問わず抽出されましたか。
事務局	国籍は問わずに抽出させていただいております。
千頭 会長	回答の中で国籍は聞いていないと思いますが、調査票自体は配慮した調査票ではなくて日本語が堪能な方しか答えられない状況でしょうか。
事務局	実際には、我々の窓口に外国の方がいらっしゃって、職員が通訳の方を呼んで対応させていただいたという事例もございました。
武内 委員	調査概要の中で、対象の中なのですけれども、西尾市に住民登録がある満16歳以上の方から3000人とありましたが、20年先の未来を見詰めなおすのであれば、もっと若い中学生ぐらいからアンケートをとった方がアンケートの返信率が高いのかなと、思いました。
事務局	最初は満18歳以上、もしくは20歳以上という案も出た中で、先ほどのお話にもありましたように20年先で16歳以上が適していないかという意見が事務局の方でもあったのですが、武内委員がおっしゃるとおり、16歳以下がどのような回答になるのか想像がつかないというのがありますけれども、参考にはさせていただきたいと思います。ありがとうございます。

発言者	内容
千頭 会長	<p>年齢別のクロス集計をされるでしょうから、若い世代がどう思っているのかまたご紹介いただければと思います。</p> <p>西尾は今外国籍の方が 9000 人くらいで 6% くらいですね。短期の技能実習生の方も多いたと思いますが、永住・定住者の方は、市民として市の中で暮らしたいと思っていられる方がきっとたくさんいらっしゃって、そういう方の意見を聞くのは大事ですね。またどこかの機会で、西尾は多文化共生にすごく頑張っていられると思いますけれども、うまく聞き出せたらいいかもしれないですね。</p> <p>他何かありますでしょうか。</p>
齋藤 委員	<p>住み続けたくない、というのは非常に残念な結果なのですが、どのあたりが、という和生活環境の不備というか、交通だったりとか、買い物、そういったことが今後の大きな課題だと思いますので、今後、真剣に考えていけたらと思います。</p>
千頭 会長	<p>なるほど。他はいかがでしょうか。</p>
手島 委員	<p>基本方針の「自然と文化と人々がとけ合い心豊かに暮らせるまち」という大きなテーマがあるかと思いますが、アンケートの結果を見ると、基本目標 3 のところの「地域を支える文化として育む環境づくり」のところの「歴史・文化」の箇所の意識が非常に低いんですね。それから、「どのようなまちになるか」とか、「観光客が訪れる賑わいがあるまち」というところもあまりにも低くて、意識が低いんだなということを見つけたのですが、西尾市は歴史的にもすごく魅力があるまちだと思います。そう思われていないならば、もっと力を入れていきたいです。この基本方針、「自然と文化～」はどういう意味合いがあって、こういう文面にされたのかなと思います。市民の人の意識が低いのがちょっと残念だなと思います。それから皆さんとても良いまちだよというのをアピールする方向を皆で話し合っていけばいいというのがあるのでしょうか。</p>
事務局	<p>今の第 7 次の将来目標につきましては、ちょうど合併した年に策定を進めておりましたので、旧 3 町の自然などの資源と、旧西尾市が持つものづくり系も融合したまちになることを将来都市像として設定しております。委員のご指摘があったとおり、歴史的なところですか、市役所側が評価が高いとご説明させていただいたのですが、その中で最も低いものが「中心市街地で歴史的背景を感じられるまちなみ保全」でした。さらに「市民との協働によるまちなみ保全や魅力あるまちの形成」というものが低く、これらは我々職員の方もイメージ通りに事業は展開できない中で、それが市民の人にも伝わらなかったために共に低い結果になったのではないかなと考えております。今のお話にあったとおり、それは反省点として第 8 次総合計画には上げさせていただきたいというように考えております。</p>
千頭 会長	<p>今のご意見に対して杉田委員いかがでしょうか。</p>

発言者	内容
杉田 委員	イメージ的には歴史そのものもありますが、発信能力のキャパが少ない。そこまで市民の方になかなか届いていかない。文化もそうです。民俗的な土地なりの文化がたくさんあるのですが、発信能力が乏しいが故になかなか市民に届いていかない。そのあたりを10年先に、やはり冒頭申し上げましたがビジネスモデルにはなりにくいのですけれども、それが市民の方の生活の安定だとか心の安定だとか癒したとか、そして生涯の文化についての人間性の高まりなど、無形の部分をどう発信していくか、ものをつくった、道路を開いた、という部分とそうでない部分と使い分けというのか、それをまた含めてもらいたいなど、そんな気がします。

### (3) 第8次総合計画体系案について

発言者	内容
千頭 会長	ありがとうございます。鳥山委員に観光のことをお聞きしたい気持ちもありますが、先に資料8について説明をいただいた後、時間の許す限り引き続きご議論をいただきたいと思います。事務局から説明をお願いします。
事務局	事務局説明
千頭 会長	ありがとうございました。一部体系、括り方を見直す、ということです。いかがでしょうか。今お話で、交流・共創部というのをつくられたということで、観光文化振興スポーツと佐久島が入って、そこを産業部と一緒に統合していくということですか。
事務局	産業部門と統合して効率的かつ効果的な施策を盛り込みたいと考えています。
千頭 会長	今回大きく変わるはそのあたりでしょうか。あとは細かい修正かと思えますけれども。地域ブランドというのも農林水産業に入れてしまうということですね。皆様いかがでしょうか。これで大体ピンときそうでしょうか。 特にはご意見が無いようなので、中身が大事なので、括り方はある程度これで、作業を進めていくということでよいでしょうか。 はい、それでは、主な議事は以上かと思えますが、何か今のところでございますか。

## 6. その他

発言者	内容
古居 委員	応募にあたって特別な思いがあります。先ほど宝の山があると申しました。 まず私は、第7次につきましては、盛んに行われうまくいってると理解しています。第7次では、皆さんもご存じと思いますが、人口は16万3000人であったが現在は、17万人近くいっているということで、これは基本的には西尾市は収入政策を上げたからだと思っております。そこで、基本的には継続していただきたいということが念頭にあります。そのためには西尾市の財政力指数、令和元年には0.990までいきました。しかし令和2年度には少し下がったということで、引き続き引き上げて10年後には、財政力指数を1.1まで持って行って、ということです。 国の方は大借金です。20年後には国からの交付金を頼っていたのでは自立した西尾市にはなれません。そこで、今ここで8次計画を審議する令和14年度までのこの総合計画審議会の中で20年後を見据えてしっかりと議論していきたいということが今日持ってきたレジュメの中にあります。総合計画の審議会の中に、幸いなことに専門部会を設けることができるという規約になっています。できれば私も入れていただきたいと思っております。私は後で申し上げますが、区画整理の専門家で

発言者	内容
	<p>ます。成長なくして分配はない、という基本的な考え方で収入、成長を考えてまいりました。</p> <p>そこで提案です。まず1番目。西幡豆町の土砂採取予定地。これははっきりわかりませんが約30年前に中部空港の第一次埋立土砂採取予定地で、うまくいかなかったために、三重県の方に土砂採取予定地がいったしまったと。新聞によると名古屋からの収集土砂によって、空港島の第二次滑走路の予定地を埋め立てたとありました。今年の1月か2月頃かと思います。また同じことを繰り返してはならない。県有地ですので愛知県知事に権限がありますが、150haという大きな開発をするには、国家プロジェクト、そういう大きな大前提が無いと、なかなか規制が強うございます。森林法、一部は改定されていると思いますが、新聞や議会たよりに拠りますと、9月議会だと思いましたが、永山さんの質問の中で太陽光発電設備を県に働き掛けたことがある、という記事が出ておりました。私はこれは否定はいたしません。固定資産税が雑種地になって多少は上がります。しかし、良い成長戦略は、ここを住宅地にすれば、私の試算ですが、150haもございますので5億から10億の収入が見込めるのではないかと、言うことです。</p>
千頭 会長	古居委員、お待ちください。今日は全体として総合計画、その策定の進め方についてご議論いただいています。ご提案は大事なことですが、時間が限られていますので、お話のポイントだけあと2、3分をお願いできますか。申し訳ありません。
古居 委員	<p>私は、西尾市の土砂採取予定地については、市はこういう風に考えているよ、というこういう方向に持って行くんだよ、という議論をここでしていただけないかという提案です。</p> <p>もう一つは、西尾市で私は区画整理をたくさんやっております。本当に良いまちになってございます。ただそれは、組合施工でございます。刈谷市や安城市、大きいところでは、公共団体施工をやってすばらしいまちづくりをしております。もうそろそろ西尾市も公共団体施工に手を掛けて、20年後、素晴らしい子どもたちが喜ぶ住みよきランキング向上のために、借金を返済し、不交付団体になるように今ここで議論すべきではないかということをご提案させていただきました。よろしく申し上げます。</p>
千頭 会長	ありがとうございます。大きくは、部会を作れないかということ、それから西幡豆の土砂採取予定地のお話と、区画整理のお話、ということでよろしいですか。
古居 委員	はい。
千頭 会長	事務局何かありますか。
事務局	<p>ご提案ありがとうございます。今お話にありました財政力指数を上げていくというお話につきましては、西尾市に限らず全国どこの自治体も上げようと思っております。財政健全化に努めますのは、当然であると思っております。</p> <p>そして西幡豆の土砂採取予定地の土取りの跡地につきましては、勉強会を開いておりまして、その中で検討をしているという段階です。</p> <p>部会の設置につきましては、策定担当者会議というところで政策の部門は策定しておりまして、策定した後、こちらからお示しする、という段取りになっております。そちらで検討させていただいて、部会の設置につきましては事務局としては、申し訳ないの見送らせていただきたいと思いますので、よろしくご願ひ致します。</p>

発言者	内容
千頭 会長	西尾市は長期の財政収入シミュレーションのようなものはまだされていच्छらないですよ ね。
事務局	27年度に作成したものがございます。今27年度から10年間の計画で、計画進行中です。見直 しの議論もあるのですが、コロナの影響などもあり、ちょっと今財政の削減は難しいという状況を 聞いておまして、策定は止まっております。
千頭 会長	あとは、大きな話は総計審議会というよりは、むしろ市の方でもう一度シミュレーションをきち っとしていただくといいのかなと思います。 今ご提案のあったことも含めて、個々の提案をたくさん書いていただいている、古居委員としては 全部お話になりたいと思うのですけれども、個々の事業の提案については、策定部会と言います か、役所の部会のところで議論していただければいいのでしょうか。
事務局	はい、それはこちらで資料として出させていただきます議論したいと思っております。よろしくお願 い致します。
千頭 会長	財政に関する部会を作るというのは、市としては考えていなくて、それは市として財政を見直 してきちんとやっていきたいというお話のようですけれども、いかがでしょうか。 それでよろしいでしょうか。
古居 委員	提案については、西尾市の回答はこういう方針だよという回答は文書でお示してください。それを 持って自分で動きたいと思えます。
事務局	対応を検討します。よろしくお願致します。
事務局	審議会として個々の事業についてどうするかと文書で回答をするというものではございません。 市長へ回答を請求していただけたらいいのですが、我々はそれぞれのお立場で総合計画を議論す る、ということですから、そこはご承知いただければと思います。
杉戸 委員	<p>市の行政アドバイザーの仕事をさせていただいておりますので、その立場から皆様に一言お話し させていただきたいと思えます。先ほど市長から今の総合計画を見直したいというご意見がございま した。これまで総合計画は自治法で定める義務があったのですけれども、今は規定がなくなりました ので、そういうこともあって、総合計画を定める自治体は、どういう形の総合計画を策定したら 良いか、ということをごこの自治体も模索をしております。それでは一体どのように意見を出せば 良いのかわからないと思えますので、少しだけ解説をさせていただきたいと思えます。</p> <p>そもそも総合計画は何のために策定するかといいますと、先ほど総合計画は3層構造というのが ございましたけれども、基本構想で将来像、政策目標、基本目標で施策の方針、実施計画で個別の 事業、というように体系化することによって、個別の事業をばらばらにするのではなく、どういう目 的の何を目指して事業をするのかということをご明確に位置付けることによって、それぞれの事業が 最終的にいかに将来像に近づけるかという道筋を明確に付けるというのが総合計画の本来の役割 です。ただ、全ての分野をカバーしているものですから、総花的でわかりにくいという声が常に総 合計画にはつきまといまます。</p> <p>最近では、少し見直そうという動きがあつて、例えば基本構想を見直す動きとしては、まちづくり の考え方というのは、10年で変わるものじゃない。もっと長期的な視点で10年ごとに見直すので なく、20年、30年という長期の計画で基本構想を考えていくというところもあります。例えば名 古屋市は昭和53年に基本構想をつくって1回も変えていません。というところもございまます。</p>

発言者	内容
	<p>逆にもっと基本構想をシンプルにしようということで、将来像とビジョンだけの2、3ページの基本構想でまとめているところもあるし、市民憲章を将来像に置き換えて、基本構想をつくらないというところもあります。基本構想をシンプルにしようという考え方ですね。逆に基本計画をシンプルにしようというところもあります。何故かという、各分野ごとに個別計画を策定しているからです。先ほど区画整理や土地開発のお話がありましたけれども、都市計画審議会という議論の場があって、その分野の計画をつくっています。そこで市民の意見や色々なアンケート調査を聞きながら作っている関係で、総合計画では各分野ごとの話をする必要がないのではないかという話がございまして、基本計画は大きな施策の方針だけを書いてよいと。そのかわり先ほどバックキャストの話がありましたけれども、20年後のありたい都市のすがたを色々な視点で描くという、そこを総合計画のポイントにしたらどうかという動きもあります。</p> <p>それから、総合的なものですから、何を重点的にやろうとしているのかわからない、という批判があるため、重点施策を位置付ける、ということがありますけれども、総合計画は非常にテーマが幅広いものですから、仮に絞ったとしても色々な施策が関係します。そうしますと重点施策だけで一つの施策体系ができてしまうというところがあって、そういう意味では、重点施策の施策体系と、将来像をセットにして総合計画という、というように位置付けて分野別の計画は行政計画の参考資料ということで打ち出しているところもある。</p> <p>もうひとつ、総合計画の役割として、行政がどこまで進捗しているのかチェックする役割があるという議論があります。西尾市も色々な指標を設定していますけれども、たくさんの指標が設定して、指標を見て進捗を評価するという方法をとっています。そこで千頭先生からもお話がありましたように、毎年、毎年調査して指標の進捗状況を見て総合計画を策定する、だから施策の中身よりも指標を上げて指標を達成することが、計画だという、そういうような計画もございまして。個々の指標の達成状況はよくわかるのですが、市全体の達成状況は指標がありすぎてわかりにくいという批判があって、逆に指標を絞り込む、そういうようなパターンも最近出てきております。そういう意味ではどれも良いところと悪いところがあるので、決め手がなくて結果的には従来型の計画を作っている自治体が多いというのが現状です。皆様のご意見として、どういうところを重視した計画とするのかご意見を是非出していただきたい。</p> <p>意見を出しにくければ、後期計画を見ていただいて、どこが分かりにくいなどの意見をいただき、どの部分をもっと強調したらいいんじゃないかというようなご意見でもかまいませんので、是非総合計画のありかたについてご意見をいただいて、審議会でひとつの方向が出れば、それと合わせて総合計画の方向が出ればいいかなと思います。是非そういった視点でご意見をいただきたいというところです。</p>
千頭 会長	ありがとうございます。事務局、議会の議決事項は基本構想だけですか、計画も含めてですか。
事務局	基本計画も、です。
千頭 会長	今のご指摘はすごく大事なことですが、今日の資料はそういった議論をする資料の組立にはなっていないですね。これからそれを議論して、と言われればしますけれども、事務局どうですか。
事務局	今日はこちらからお示した資料で議論いただければと思います。

発言者	内容
千頭 会長	<p>資料8で施策体系はこれにしたいと提案いただいたわけですから、杉戸専門員のご指摘を受けて議論をするのであれば、資料8は出てこないわけですね。体系をどうしたらよいかという資料を提供していただければ、我々はそれについて議論ができるのですけれども。資料8まで終わった段階でそれを言われてしまうと、次回その議論をするのですか。</p> <p>これからそれを議論するのであれば、審議会を組み立て直しましょう。今日の資料ではその議論はできません。</p>
事務局	<p>資料8でお示しさせていただいた体系案につきましては、職員が計画案を策定するベースとなるものですので、基本的にはこの施策体系案のとおり、これから市職員の方で策定させていただいた上で、次回の審議会では見せ方といいますか、体系など、そういったところでも先ほどの杉戸専門員からの意見を参考にいただいてご審議いただければと思います。今回はお示しした内容で審議をお願いしたいと思います。</p>
千頭 会長	<p>ありがとうございました。予定していた時間を過ぎてしまいましたが、次回は年度末で基本構想案ということですので、1字1句これでいきます、というよりは、我々に投げかけていただきたい。我々が議論すべきポイントをお示しいただくような資料の構成の方が良いかもしれないですね。どうしても1字1句の修正ですと議論が深まりませんので。その他、ありますか。</p>
事務局	<p>今回の報酬ですけれども、12月21日の火曜日にご指定のお振込みをさせていただきます。次回の審議会ですが、3月16日の水曜日午前10時からを予定しております。その場で基本構想案をお示しする予定です。よろしくお願い致します。</p>
千頭 会長	<p>はい、では第1回の審議会を終わりたいと思います。ありがとうございました。</p>